

東日本大震災から10年

従業員と家族の命を守る

ダイナムの災害危機管理対策

東日本大震災でグループ企業の従業員4人の命を失ったダイナム。その教訓から導き出された災害時のマニュアルは、まず従業員の命を守ることに重点を置いた。震災発生時、福島県で対応にあたったのが当時、郡山統括事務所のゾーンマネジャーだった阿部さん。現在はリスク管理部の部長を務める阿部さんにダイナムの災害時対策を聞いた。

2011年3月11日、午後2時46分。宮城県栗原市、半島の東端でマグニチュード9.0の巨大地震が発生。この巨大地震は、史上最大の地震によって、波高10メートル以上、最大遡上高40.1メートルの津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部を襲った。津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所では、1、3号機で炉心溶融が起り、大量の放射性物質が漏洩する事故が起きた。



ダイナムリスク管理部部長の阿部さん

3月11日、阿部さんは、地震発生直後にクルマで統括事務所に向かった。

「停電で信号も点灯して、いきなり危険を感じました。事務所に到着すると仲間が外の公園に避難していたので、家族がいる人は家族を安全な場所へ避難させて、単独で動けるようにしました。福島県が地元で従業員は少ない。自分自身も責任者だったので、本部に連絡を取りたかったのですが、公衆電話もつながり、いろいろな試みましたが連絡がつかない状況で、あふれた思いを、意識したと思います」

営業を継続することが地域社会への貢献になる

地震発生翌日の3月12日の時点でダイナムは、東日本を中心に132店舗が営業を休止し、または見合わせた。最も大きな被害を受けた宮城県東松島市の矢本店は、海岸から直線距離で3キロの位置にあったにもかかわらず津波の被害を受けた。地震発生時に約200人いたお客様を外に避難させて、従業員全員が外に出たのは地震発生から20分後、目の前の定川から水があふれたのを見て、500メートル離れた小学校の体育館に避難した。その後、校庭に津波が押し寄せて、丸1日、東日本大震災で同様に



津波で浸水した「ダイナム矢本店」(宮城県東松島市)



矢本店の店内ではカウンターが倒壊した

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』



東日本大震災の際に避難所で支援物資を配るダイナムの従業員



東日本大震災後の55回に及ぶ緊急対策会議の議事録が保存されている

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』

「東日本大震災後、阿部さんは2011年にリスク管理部に配属された。そこで取り組んだのは、従業員を守ることを第一義に置いたマニュアルづくりだった。『南海トラフ地震を想定すると、地震発生から早ければ10分で10メートルほどの津波が来ます。恐れがある店舗もあり、従前のマニュアルは、お客様に安全に帰っていただく後で従業員が避難するというものでしたが、それによって、間に10分は経ってしまっています。そうではなく、従業員を守るために、どうしたらいいのか、ということを考えたマニュアルにしました。』



大切な一瞬をクオリティの高い写真で

店舗竣工撮影、ドローン撮影などさまざまなシーンでご利用ください

工程表・お見積りをお作りいたします。お気軽にお問い合わせください。
TEL.03-5447-0551 info@amusement-japan.co.jp

A.PRO. 株式会社 アミューズメント プロモーション

